

## ○共同の学習について

- ・コロナ以前は同じ場で学習ができていたが、コロナ以降は B 課程が病棟から出ることができなくなってしまったため共同学習を中止していた。しかし、classroom (オンラインツール) で離れた場所でも一緒に授業をおこなうことが可能になり G 部門の「音楽」や「みる・きく」の授業の参加を再開し、画面越しに共同学習をおこなっている。



- ・「音楽」では、秦野らしさやワールドワイドを意識して季節にちなんだ行事や曲を中心に学習した。ベッドサイド学習の児童にとって貴重な”集団学習”の場で、普段聞くことのできない”教室のザワザワした音”や”G 部門の教員や友達の声”に視線を送ったり、笑顔を見せたりした”合奏”という経験もこのオンラインでなければなかなかできない児童たちなので、大切にしたい共同学習である。



- ・「みる・きく」では、季節に関する内容の絵本の読み聞かせをしたり、その季節に関する活動をしたりした。画面から聞こえてくる G 部門の児童や教員の笑い声などの賑やかな雰囲気や笑顔を見せたり、G 部門の児童が活動している様子を身を乗り出して画面をみたりしていた。オンラインならではの学習なので、今後も大切にしていきたい。